

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 10日

都道府県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県袋井市湊4207-2

氏 名 高砂フードプロダクツ株式会社

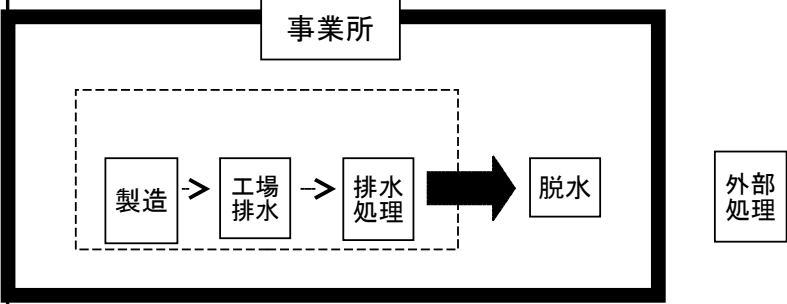
代表取締役 篠原 麻男

電話番号 0538-23-3411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

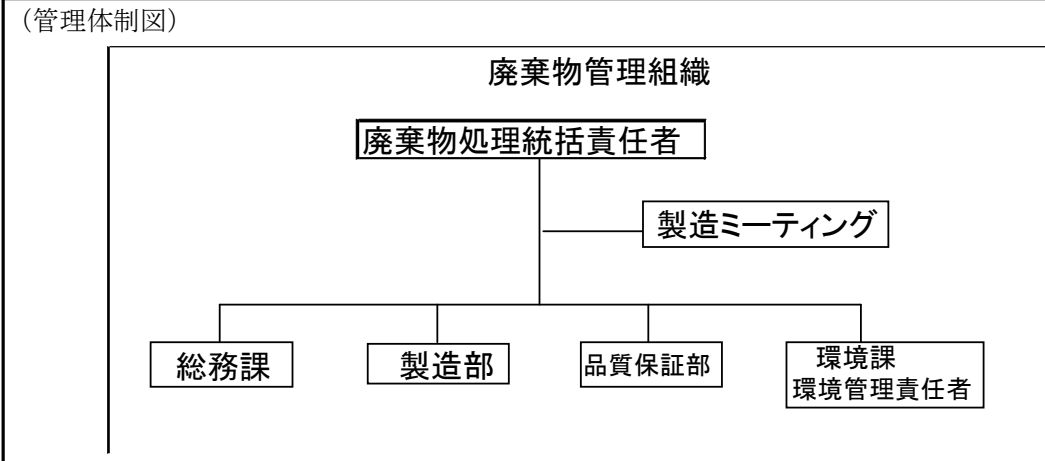
事業場の名称	高砂フードプロダクツ株式会社
事業場の所在地	静岡県袋井市湊4207-2
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	099 その他の食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷額38.4億円
③従業員数	143名（正社員132名、それ以外の職員11名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

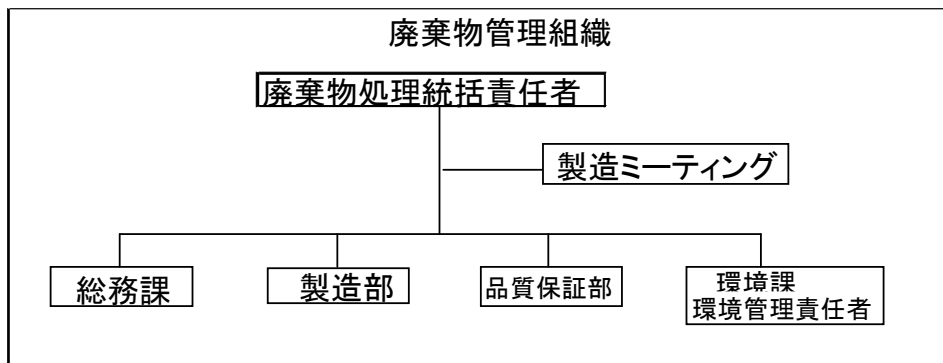
①現状	【前年度 (令和 3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	排出量	4143.18 t	57.263 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥：①脱水 ②散気管による溶存酸素効率UP⇒汚泥転換率の低下 (自動化) 廃プラ類：①分別の徹底により再資源化比率を向上 ②分別による一部有価化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	排出量	3936.02 t	54.4 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚れの少ない廃プラスチック類のPP・PEを分別・圧縮し、一部有価化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

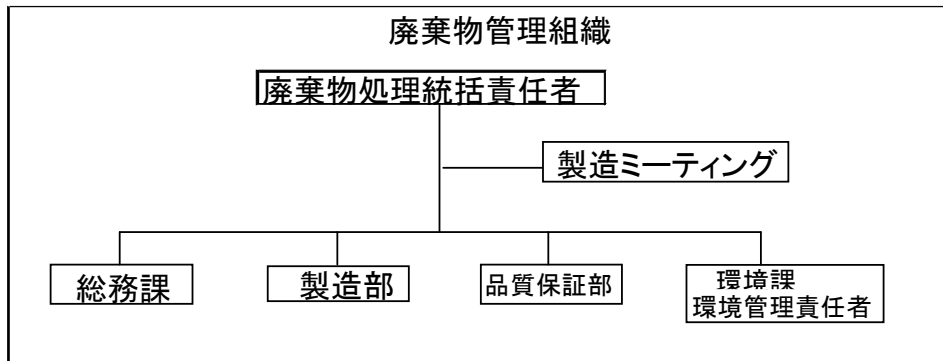
①現状	【前年度 (令和 3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	3.595 t	57.4 t
	(これまでに実施した取組) 廃油；機械油の分別により一部有価化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	3.415 t	54.53 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 機械油の分別により一部有価化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

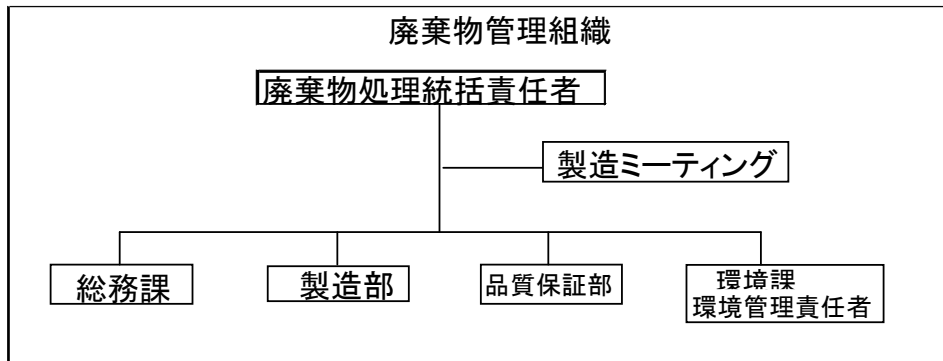
①現状	【前年度 (令和 3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	排出量	1.51 t	1.08 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	排出量	1.43 t	1.026 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

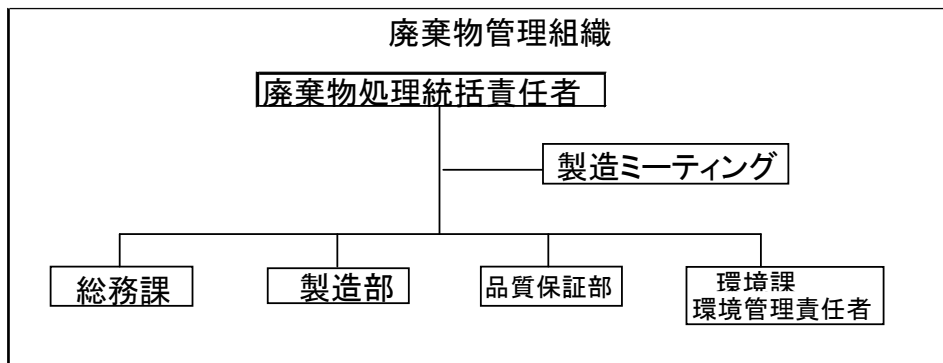
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	排出量	389.37 t	0.67 t
	(これまでに実施した取組) 動植物性残さ：動植物性残渣の一部有価化 パンチングコンテナを導入し含水率削減 専用脱水機による含水率削減（搾り機導入） 金属くず：機械内の油や不要なものを分別し、一部有価化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	排出量	369.9 t	0.637 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続 ※搾り機の安定稼働		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くずの分別による一部有価化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状継続 ※搾り機の安定稼働

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	排出量	0.001 t	0.08 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	排出量	0.001 t	0.08 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 汚泥肥料化 動植物性残渣と廃プラスチック類の分別による再資源販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 継続実施		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3728.86 t	0 t
（これまでに実施した取組） 脱水			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3542.4 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 脱水の継続実施 脱水汚泥の乾燥による減容化			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 廃油を分別管理し、一部有価化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状継続		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 特になし			



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 分別により一部有価化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状継続		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） パンチング桶の使用による脱水			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	19.469 t	0 t
（今後実施する予定の取組） パンチング桶の使用による脱水と搾り機運用による減容化			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 処理場での内部処理			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
①現状	全処理委託量	414.2 t	57.263 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	48.66 t
	再生利用業者への処理委託量	414.2 t	57.263 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 脱水 分別による再資源化		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
	②計画		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全処理委託量	3.595 t	57.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.595 t	57.4 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.005 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.59 t	0 t
(これまでに実施した取組) 分別による一部有価化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
産業廃棄物の種類		ガラスくず、陶器	木くず
全処理委託量		1.51 t	1.08 t
優良認定処理業者への処理委託量		1.51 t	1.08 t
再生利用業者への処理委託量		1.51 t	1.08 t
認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 脱水 分別による再資源化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
	②計画		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	全処理委託量	389.37 t	0.67 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.94 t	0.67 t
	再生利用業者への処理委託量	389.37 t	0.67 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 脱水 分別による再資源化		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	全処理委託量	0.001 t	0.08 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.001 t	0.08 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.08 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.001 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	393.5 t	54.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	54.4 t
	再生利用業者への処理委託量	393.5 t	54.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 圧搾機の運用 分別強化による有価化 汚泥の脱水による減容化 脱水汚泥の乾燥による減容化		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全処理委託量	3.415 t	54.53 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.415 t	54.53 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.415 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 廃油の分部による一部有価化 処理場での内部処理		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶器	木くず
	全 処 理 委 託 量	1.435 t	1.026 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.435 t	1.026 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.435 t	1.026 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 分別による再資源化		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	金属くず
	全処理委託量	369.9 t	0.637 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	369.9 t	0.637 t
	再生利用業者への 処理委託量	369.9 t	0.637 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 分別による再資源化 パンチング桶による脱水 残渣搾り機により脱水による減容化 残渣の一部有価販売		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃電池類
	全処理委託量	0.001 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.001 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理場での内部処理		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。